

# 令和4年度部局アクションプラン

## ■記載内容

### 3.「全学的に重視する指標」の数値目標

#### ■目次

- ・ 概要資料(P.1-3)
- ・ 令和4年度部局アクションプラン(数値目標)検証シート

頁数	部局名	頁数	部局名
P.4	人文学研究科・文学部・外国語学部	P.16	情報科学研究科
P.5	人間科学研究科・人間科学部	P.17	生命機能研究科
P.6	法学研究科・法学部	P.18	高等司法研究科
P.7	経済学研究科・経済学部	P.19	連合小児発達学研究科
P.8	理学研究科・理学部	P.20	微生物病研究所
P.9	医学系研究科・医学部	P.21	産業科学研究所
P.10	医学系研究科・医学部(保健学)	P.22	蛋白質研究所
P.11	歯学研究科・歯学部	P.23	社会経済研究所
P.12	薬学研究科・薬学部	P.24	接合科学研究所
P.13	工学研究科・工学部	P.25	レーザー科学研究所
P.14	基礎工学研究科・基礎工学部	P.26	核物理研究センター
P.15	国際公共政策研究科	P.27	サイバーメディアセンター

# 令和4年度部局アクションプラン(数値目標)の検証について

## 1. 制度について

第4期中期目標期間において、国立大学法人は、適正なガバナンスを確保するとともに、自律的な経営力を発揮することで、我が国全体の質の高い高等教育の維持・発展に寄与するという社会的役割を果たしていくことがさらに求められている。

また、将来ビジョンに基づく持続的かつ発展的な大学経営には、評価指標の設定、各施策の進捗管理、評価、資源配分という PDCA サイクルを実現することが不可欠である。

以上のような背景を踏まえ、第4期中期目標期間では、「OU マスタープラン2027」と「OU アクションプラン」の下、部局が定めた「年度計画・成果指標」に基づく自己点検・評価の結果を大学として確認・検証することで、大学の方向性に沿った取組を確認するとともに、部局がさらに強み・特色を発揮するための支援を行うこととし、これにより部局における PDCA サイクルを好循環させ、大学全体の教育研究活動等のさらなる発展に繋げることとしている。

### 部局アクションプランの内容

- ・ 部局の強み・特色を活かすための基本理念
- ・ OU マスタープラン 2027・OU アクションプランの達成に資する年度計画
- ・ 「全学的に重視する指標」の数値目標

### 対象指標

- ・ 全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合
- ・ 常勤教員の論文数
- ・ 競争的資金(科研費等)の獲得件数・金額
- ・ 共同研究・受託研究の受入金額
- ・ 外国人留学生数
- ・ 日本人海外派遣学生数

### 検証方法

指標の達成状況及び各部局で作成した取組状況等に対して、各指標の評定基準等に基づき、大学(計画・評価委員会)として検証を行った。

## 2. 「全学的に重視する指標」の数値目標に係る検証結果について

### (1) 全体の検証結果

項目	指標	対象 部局数	評定				
			SS	S	A	B	C
教育	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(学部)	12	1	1	10	0	0
	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(大学院)	16	1	4	10	1	0
研究	常勤教員の論文数	24	1	3	10	10	0
	競争的資金(科研費等)の獲得件数・金額	24	3	1	17	3	0
産学共創	共同研究・受託研究の受入金額	23	1	2	12	6	2
グローバル化	外国人留学生数	15	1	2	12	0	0
	日本人海外派遣学生数	15	1	4	7	3	0

#### <評定区分>

SS: 目標の達成状況が非常に優れている S: 目標の達成状況が優れている

A: 目標の達成状況が良好である B: 目標の達成状況が不十分である

C: 目標の達成状況が不十分で、重大な改善事項がある

### (2) 個別の検証結果(詳細は、「令和4年度部局アクションプラン(数値目標)検証シート」のとおり)

#### ○特筆すべき事項(SS評定)

区分名	指標名	部局名	評定理由
教育	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合	医学部、国際公共政策研究科	全学的にも例年高い水準を維持しており、目標値を上回っていることは、非常に高く評価できる。
研究	常勤教員の論文数	国際公共政策研究科	目標値及び前年度比を大きく上回る実績を上げており、他部局と比較して顕著な実績を上げていると評価できる。
	競争的資金(科研費等)の獲得件数・金額	法学研究科、連合小児発達学研究所	獲得金額が前年度比を大きく上回っており、他部局と比較して顕著な実績を上げていると評価できる。
産学共創	共同研究・受託研究の受入金額	工学研究科	共同研究講座の新設を始め、産学連携の取組を積極的に実施し、目標値を大きく上回っており、さらに、全学的にみても非常に大きな受入金額であることは高く評価できる。
グローバル化	外国人留学生	医学系研究科保健学専攻	様々な取組の結果、目標の約4.5倍の実績を上げており、また、前年度比でも倍以上の実績をあげるなど、前年に比べてマイナスとなる部局が多い中、全学トップの増加数を達成している。

	日本人海外派遣学生数	理学研究科	高い目標を設定し、その目標を大きく上回るとともに、前年度からの増加率が全学トップクラスである点は、非常に高く評価できる。
--	------------	-------	--

○今後期待する事項(C 評定)

区分名	指標名	評定理由
産学共創	共同研究・受託研究の受入金額	該当の2部局について、各種の取組は十分理解し評価しているところではあるが、共同研究・受託研究の受入金額の実績値に基づき判断した。

### 3. 総括

大学として重視する事項への達成度を定量的な面から評価し、各組織の取組が大学の方向性に沿っているかを確認することができた。

次年度についても、引き続き本取組を実施し、大学全体の教育研究活動等のさらなる発展に繋げることとしている。

部局名:人文学研究科・文学部・外国語学部

区分	指標	評価	検証コメント
教育	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(文学部)	A	目標の達成状況が良好である
	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(外国語学部)	A	目標の達成状況が良好である 他部局と比較して実績値が高く、おおむね数値目標を達していることは評価できる。
	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(大学院)	A	目標の達成状況が良好である
研究	常勤教員の論文数	B	目標の達成状況が不十分である 目標値を下回っているが、該当する分野の構成員に論文投稿を促すとともに、分野横断的な共同研究を促進し、それにあわせて論文投稿を促す計画も評価でき、今後に期待する。
	競争的資金(科研費等)の獲得件数・金額	A	目標の達成状況が良好である 獲得件数、金額ともに目標を下回っているが、部局内で競争的資金への積極的な応募を呼びかけており、応募・採択状況からも、その実績が認められる。
産学共創	共同研究・受託研究の受入金額	A	目標の達成状況が良好である
グローバル化	外国人留学生数	A	目標の達成状況が良好である
	日本人海外派遣件数	S	目標の達成状況が優れている 目標値及び昨年度を大幅に上回る実績を上げており、また、企業から獲得した資金により留学奨学金を創設し、海外留学の促進を図るなど、高く評価できる。

部局名:人間科学研究科・人間科学部

区分	指標	評価	検証コメント
教育	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(学部)	S	<p>目標の達成状況が優れている</p> <p>目標値を大きく上回るとともに、前年度以前から着実に増加しており、高く評価できる。外部委託による英語力向上セミナーの取組は高く評価できる。</p>
	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(大学院)	A	<p>目標の達成状況が良好である</p> <p>目標値を下回っているものの、英語力向上セミナーの参加者を増やすなど、目標達成に向けた取り組みを行っており、今後の外国語力向上が期待できる。</p>
研究	常勤教員の論文数	S	<p>目標の達成状況が良好である</p> <p>目標値及び前年度を大きく上回る、約30%増の実績をあげており、高く評価できる。</p>
	競争的資金(科研費等)の獲得件数・金額	A	<p>目標の達成状況が良好である</p> <p>獲得件数、金額ともに目標値をわずかに下回っているが、複数の科研費の申請を促進する取組等を積極的に行っており、評価できる。</p>
産学共創	共同研究・受託研究の受入金額	B	<p>目標の達成状況が不十分である</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産学連携の様々な取組は評価できるが、成果指標の実績値に基づき、判断した</li> <li>共同研究・受託研究の獲得に向けて、引き続き学内の支援体制を積極的に活用し、今後の向上に期待したい。</li> </ul>
グローバル化	外国人留学生数	A	<p>目標の達成状況が良好である</p> <p>目標値をわずかに下回っているが、留学生の個別面談などを継続して行っており、評価できる。</p>
	日本人海外派遣件数	S	<p>目標の達成状況が優れている</p> <p>目標値を大きく上回る実績を上げており、また留学に関する情報提供、個別相談、国際研究交流プロジェクト支援等を実施したことは高く評価できる。</p>

部局名:法学研究科・法学部

区分	指標	評価	検証コメント
教育	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(学部)	A	目標の達成状況が良好である
	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(大学院)	S	目標の達成状況が優れている 人数、割合ともに前年度より増加し、数値目標を大きく上回っており、高く評価できる。
研究	常勤教員の論文数	B	目標の達成状況が不十分である 目標値に到達していないが、所属教員への積極的な働きかけを継続的に行っている点は評価でき、今後に期待する。
	競争的資金(科研費等)の獲得件数・金額	SS	目標の達成状況が非常に優れている 獲得件数は目標値を下回っているものの、獲得金額が前年度比を大きく上回っており、他部局と比較して顕著な実績を上げていると評価できる。
産学共創	共同研究・受託研究の受入金額	C	目標の達成状況が不十分で、重大な改善事項がある ・ 所属教員への働きかけなど、取組は評価できるが、成果指標の実績値に基づき、判断した。 ・ 共同研究・受託研究の獲得に向けて、学内の支援体制を積極的に活用し、今後の向上に期待したい。
グローバル化	外国人留学生数	A	目標の達成状況が良好である
	日本人海外派遣件数	A	目標の達成状況が良好である

部局名:経済学研究科・経済学部

区分	指標	評価	検証コメント
教育	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(学部)	A	目標の達成状況が良好である
	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(大学院)	A	目標の達成状況が良好である
研究	常勤教員の論文数	B	目標の達成状況が不十分である 目標値に到達していないが、論文数の増加に向け、若手教員を積極的に採用するなどの取組は評価でき、今後に期待する。
	競争的資金(科研費等)の獲得件数・金額	A	目標の達成状況が良好である 獲得件数、金額ともに目標値を下回っているものの、獲得件数については、目標値との差はわずかである。競争的資金獲得への周知、インセンティブ制度の活用などを継続して行っており、評価できる。
産学共創	共同研究・受託研究の受入金額	A	目標の達成状況が良好である
グローバル化	外国人留学生数	A	目標の達成状況が良好である
	日本人海外派遣件数	A	目標の達成状況が良好である



部局名:理学研究科・理学部

区分	指標	評価	検証コメント
教育	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(学部)	A	目標の達成状況が良好である 目標値をわずかに下回っているが、部局独自の予算で TOEIC 受験料の補助などを継続して行っており、評価できる。
	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(大学院)	A	目標の達成状況が良好である 目標値を下回っているが、研究科独自の予算で TOEIC 受験料補助を行うなど、外国語力向上のための積極的な取組を継続して行っておりが評価できる。
研究	常勤教員の論文数	A	目標の達成状況が良好である
	競争的資金(科研費等)の獲得件数・金額	A	目標の達成状況が良好である 獲得件数、金額ともに目標に達していないが、研究科長から競争的資金獲得に向けた指導を行っており、研究科全体としての取組として評価できる。
産学共創	共同研究・受託研究の受入金額	A	目標の達成状況が良好である 共同研究の獲得に向けた取組を実施し、目標値を達成する等、順調な進捗が見られ、評価できる。
グローバル化	外国人留学生数	A	目標の達成状況が良好である 目標値を達成しており、オンラインサマープログラムを実施するなどの取組が評価できる。
	日本人海外派遣件数	SS	目標の達成状況が非常に優れている 高い目標を設定し、その目標を大きく上回るとともに、前年度からの増加率が全学トップクラスである点は、非常に高く評価できる。

部局名:医学系研究科・医学部

区分	指標	評価	検証コメント
教育	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(学部)	SS	目標の達成状況が非常に優れている 全学的にも例年高い水準を維持しており、さらに目標値を 10%以上上回っていることは、非常に高く評価できる。
	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(大学院)	A	目標の達成状況が良好である
研究	常勤教員の論文数	A	目標の達成状況が良好である 目標に到達していないが、論文数が令和 2 年度からは大きく増加しており、また、定期的に各研究室へ発表論文数を確認する等積極的な取組を継続して行っており、評価できる。
	競争的資金(科研費等)の獲得件数・金額	A	目標の達成状況が良好である 獲得件数、金額ともに目標に到達していないが、前年度の獲得金額を大きく上回るとともに、WPI 補助金分を加味すると、獲得金額の目標値の水準に達しており、評価できる。
産学共創	共同研究・受託研究の受入金額	A	目標の達成状況が良好である
グローバル化	外国人留学生数	A	目標の達成状況が良好である
	日本人海外派遣件数	A	目標の達成状況が良好である

部局名:医学系研究科・医学部(保健学)

区分	指標	評価	検証コメント
教育	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(学部)	A	目標の達成状況が良好である
	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(大学院)	A	目標の達成状況が良好である 目標値、前年度実績ともに下回っているものの、英語外部試験の受験機会の拡大など、外国語力向上のために積極的な取組を行っており、評価できる。
研究	常勤教員の論文数	B	目標の達成状況が不十分である 目標を下回っているが、公的資金の獲得件数の増加が、今後の論文数の増加につながることを期待したい。
	競争的資金(科研費等)の獲得件数・金額	A	目標の達成状況が良好である 獲得件数は目標に達していないが、前年度実績を上回っている点、かつ、獲得金額は目標を大きく上回っている点が評価できる。次年度は、目標の達成に向けて、獲得件数のさらなる増加を期待する。
産学共創	共同研究・受託研究の受入金額	B	目標の達成状況が不十分である ・産学連携の取組は評価できるが、成果指標の実績値に基づき、判断した。 ・共同研究・受託研究の獲得に向けて、学内の支援体制を積極的に活用し、今後の向上に期待したい。
グローバル化	外国人留学生数	SS	目標の達成状況が非常に優れている 様々な取組の結果、目標値の約 4.5 倍の実績を上げており、また、前年度比でも倍以上の実績をあげるなど、前年に比べてマイナスとなる部局が多い中、全学トップの増加数を達成しているおり、非常に高く評価できる。
	日本人海外派遣件数	A	目標の達成状況が良好である

部局名:歯学研究科・歯学部

区分	指標	評価	検証コメント
教育	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(学部)	A	<p>目標の達成状況が良好である</p> <p>目標値に到達していないが、前年度に比べ数値は上回っており、ほぼ達成していると言える。英語の高い学力を要件とする学校推薦型選抜の志願者増加の取組が評価できる。また過去数年増加傾向にあることも評価できる。</p>
	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(大学院)	S	<p>目標の達成状況が優れている</p> <p>目標値、前年度実績とも大きく上回っている。</p>
研究	常勤教員の論文数	A	<p>目標の達成状況が良好である</p>
	競争的信金(科研費等)の獲得件数・金額	A	<p>目標の達成状況が良好である</p>
産学共創	共同研究・受託研究の受入金額	A	<p>目標の達成状況が良好である</p>
グローバル化	外国人留学生数	S	<p>目標の達成状況が優れている</p> <p>海外歯学部学生短期研修をオンラインで実施したことにより、目標値を大幅に上回っており、高く評価できる。</p>
	日本人海外派遣件数	B	<p>目標の達成状況が不十分である</p> <p>目標を下回っているが、「国際歯科学演習」による学生の海外派遣増加に期待する。</p>

部局名:薬学研究科・薬学部

区分	指標	評価	検証コメント
教育	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(学部)	A	目標の達成状況が良好である
	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(大学院)	S	目標の達成状況が優れている 薬学研究科独自の取組である大学院生等海外派遣制度の積極的な活用を推進することにより、目標値を上回るとともに、前年度からの増加が見られ、高く評価できる。
研究	常勤教員の論文数	B	目標の達成状況が不十分である 論文数の増加に加えて、部局が掲げる論文の質の向上に期待したい。
	競争的資金(科研費等)の獲得件数・金額	B	目標の達成状況が不十分である 承継ポスト数の減少や所属教員の退職にも関わらず、前年度実績を上回ったことは、評価できるが、競争的資金(科研費等)の獲得件数、金額の増加に向けた取組を推進することが期待される。
産学共創	共同研究・受託研究の受入金額	B	目標の達成状況が不十分である ・ 教員退職等の状況は理解できるが、成果指標の実績値に基づき、判断した。 ・ 共同研究・受託研究の獲得に向けて、学内の支援体制を積極的に活用し、今後の向上に期待したい。
グローバル化	外国人留学生数	A	目標の達成状況が良好である
	日本人海外派遣件数	A	目標の達成状況が良好である

部局名:工学研究科・工学部

区分	指標	評価	検証コメント
教育	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(学部)	A	目標の達成状況が良好である
	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(大学院)	A	目標の達成状況が良好である 目標値に到達していないが、修論発表会を英語で開催するなど、積極的な取組を行っており、評価できる。
研究	常勤教員の論文数	A	目標の達成状況が良好である
	競争的資金(科研費等)の獲得件数・金額	A	目標の達成状況が良好である
産学共創	共同研究・受託研究の受入金額	SS	目標の達成状況が非常に優れている 共同研究講座の新設を始め、産学連携の取組を積極的に実施し、目標値を大きく上回っており、さらに、全学的にみても非常に高額な受入金額であることは高く評価できる。
グローバル化	外国人留学生数	A	目標の達成状況が良好である 目標値をほぼ達成し、ダブル・ディグリー・プログラムや部局間交流協定の推進の取組が評価できる。
	日本人海外派遣件数	S	目標の達成状況が優れている 高い目標設定にもかかわらず、目標を十分に上回る成果をあげており、また、海外への実渡航を伴う相互交流プログラムなどの取組を行っており、高く評価できる。

部局名:基礎工学研究科・基礎工学部

区分	指標	評価	検証コメント
教育	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(学部)	A	目標の達成状況が良好である 目標値をわずかに下回っているが、前年度実績を上回っており、また、各コースで専門に即した国際性涵養科目を必修で開講するなど、積極的な取組を行っており、評価できる。
	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(大学院)	A	目標の達成状況が良好である 目標値に到達していないが、前年度に比べ数値は上回っており、ほぼ達成していると言える。イングリッシュ・ネット・アワー(英語ネイティブの留学生と学生との1対1対話)の実施による割合増加に期待したい。
研究	常勤教員の論文数	A	目標の達成状況が良好である 目標には到達していないが、論文数が令和2年度からは大きく増加しており、また、新規領域開拓研究や共同研究に対する「未来研究ラボシステム」を利用した研究資金の配分は評価できる。
	競争的資金(科研費等)の獲得件数・金額	A	目標の達成状況が良好である
産学共創	共同研究・受託研究の受入金額	S	目標の達成状況が優れている 前年度実績より増加するとともに、目標値を大きく上回っており、高く評価できる。
グローバル化	外国人留学生数	A	目標の達成状況が良好である 目標値をわずかに下回っているが、オンラインでも組織的に留学生を受け入れる体制作りを行うなど、積極的な取組を行っており、評価できる。
	日本人海外派遣件数	A	目標の達成状況が良好である

部局名:国際公共政策研究科

区分	指標	評価	検証コメント
教育	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(学部)	SS	目標の達成状況が非常に優れている
	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(大学院)		全学的にも例年高い水準を維持しつつ、目標値も上回っていることは、非常に高く評価できる。
研究	常勤教員の論文数	SS	目標の達成状況が非常に優れている 目標値及び前年度比を大きく上回る実績を上げており、他部局と比較して顕著な実績を上げていると評価できる。
	競争的資金(科研費等)の獲得件数・金額	A	目標の達成状況が良好である 獲得件数、金額ともに昨年度よりも減少し、獲得件数は目標値に到達していないが、獲得金額は目標値を大きく上回っている。また、競争的資金獲得へのインセンティブに繋がる取組を進めている点も評価できる。
産学共創	共同研究・受託研究の受入金額	C	目標の達成状況が不十分で、重大な改善事項がある ・ 所属教員への受託研究獲得に向けた支援など、取組は評価できるが、成果指標の実績値に基づき、判断した。 ・ 共同研究・受託研究の獲得に向けて、学内の支援体制を積極的に活用し、今後の向上に期待したい。
グローバル化	外国人留学生数	A	目標の達成状況が良好である
	日本人海外派遣件数	B	目標の達成状況が不十分である 目標値を下回っているが、前年度からは増加している。博士課程のダブル・ディグリー・プログラム設置などが、派遣学生数の増加に資することを期待する。



部局名:情報科学研究科

区分	指標	評価	検証コメント
教育	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(学部)	A	—
	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(大学院)		目標の達成状況が良好である
研究	常勤教員の論文数	A	目標の達成状況が良好である
	競争的資金(科研費等)の獲得件数・金額	A	目標の達成状況が良好である 獲得件数、金額ともに目標をわずかに下回っているが、若手研究者支援を積極的に行っており、評価できる。
産学共創	共同研究・受託研究の受入金額	A	目標の達成状況が良好である 目標値に達し、前年度実績を上回った点が、評価できる。
グローバル化	外国人留学生数	S	目標の達成状況が優れている ブランディング強化及び戦略的な国際連携の実施により、目標値を大幅に上回るとともに、全学的に対前年度比較で増加している部局は少ないところ、25%程度増加しており、高く評価できる。
	日本人海外派遣件数	S	目標の達成状況が優れている 目標値及び昨年度を大幅に上回る実績を上げており、また、研究科独自に学生に対する経済的支援を実施するなど高く評価できる。

部局名:生命機能研究科

区分	指標	評価	検証コメント
教育	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(学部)	B	—
	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(大学院)		目標の達成状況が不十分である 目標値、前年度実績とも下回っているが、ネイティブスピーカーによる英語教室などを行っており、今後の外国語力向上に期待する。
研究	常勤教員の論文数	B	目標の達成状況が不十分である 目標値を下回っているが、論文リストの活用などを行っており、今後の向上に期待する。
	競争的資金(科研費等)の獲得件数・金額	A	目標の達成状況が良好である
産学共創	共同研究・受託研究の受入金額	B	目標の達成状況が不十分である ・ 外部資金獲得を業績評価に組み込む工夫を行うなど、取組は評価できるが、成果指標の実績値に基づき、判断した。 ・ 共同研究・受託研究の獲得に向けて、学内の支援体制を積極的に活用し、今後の向上に期待したい。
グローバル化	外国人留学生数	A	目標の達成状況が良好である
	日本人海外派遣件数	A	目標の達成状況が良好である

部局名:高等司法研究科

区分	指標	評価	検証コメント
教育	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(学部)	A	—
	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(大学院)		目標の達成状況が良好である
研究	常勤教員の論文数	B	目標の達成状況が不十分である 目標値に到達していないが、全構成員への積極的な働きかけを継続的に行っている点は評価でき、今後に期待する。
	競争的資金(科研費等)の獲得件数・金額	A	目標の達成状況が良好である 獲得金額は目標に達していないが、前年度実績を上回っている点、かつ、獲得件数は目標を上回っている点が評価できる。科研費応募を促す取組等により、今後の獲得件数、金額の向上に期待する。
産学共創	共同研究・受託研究の受入金額		—
グローバル化	外国人留学生数		—
	日本人海外派遣件数		—

部局名:連合小児発達学研究所

区分	指標	評価	検証コメント
教育	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(学部)	S	—
	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(大学院)		目標の達成状況が優れている 目標値、前年度実績とも大きく上回っており、高く評価できる。
研究	常勤教員の論文数	A	目標の達成状況が良好である
	競争的資金(科研費等)の獲得件数・金額	SS	目標の達成状況が非常に優れている 獲得件数は目標値をわずかに下回っているものの、獲得金額が前年度比を大きく上回っており、他部局と比較して顕著な実績を上げていると評価できる。
産学共創	共同研究・受託研究の受入金額	A	目標の達成状況が良好である 目標値及び前年度実績を大きく上回った点が、評価できる。
グローバル化	外国人留学生数	A	目標の達成状況が良好である
	日本人海外派遣件数	B	目標の達成状況が不十分である 目標を下回っているが、整備中の支援体制の実施を進め、派遣学生数の増加に期待する。

部局名:微生物病研究所

区分	指標	評価	検証コメント
教育	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(学部)		—
	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(大学院)		—
研究	常勤教員の論文数	S	目標の達成状況が優れている
	競争的資金(科研費等)の獲得件数・金額	A	目標の達成状況が良好である 所属研究者の転出や時間的制約が発生する関係で獲得件数、金額ともに前年度実績より減少し、目標値をわずかに下回っているが、資金獲得のサポート体制は評価できる。
産学共創	共同研究・受託研究の受入金額	B	目標の達成状況が不十分である ・ 研究期間の延長など、取組は評価できるが、成果指標の実績値に基づき、判断した。 ・ 共同研究・受託研究の獲得に向けて、学内の支援体制を積極的に活用し、今後の向上に期待したい。
グローバル化	外国人留学生数		—
	日本人海外派遣件数		—

部局名:産業科学研究所

区分	指標	評価	検証コメント
教育	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(学部)		—
	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(大学院)		—
研究	常勤教員の論文数	A	目標の達成状況が良好である 目標をわずかに下回っているが、若手研究者に対する支援、戦略室を設置しての研究時間捻出支援などの取組が評価できる。
	競争的資金(科研費等)の獲得件数・金額	SS	目標の達成状況が非常に優れている 獲得件数は目標を下回っているものの、獲得金額が目標値を40%以上と大きく上回るとともに、昨年度からの増加率も40%以上と、ともに全学トップクラスである点は、非常に高く評価できる。
産学共創	共同研究・受託研究の受入金額	S	目標の達成状況が優れている 産学連携の取組を積極的に実施し、目標値及び前年度実績を大きく上回っており、高く評価できる。
グローバル化	外国人留学生数		—
	日本人海外派遣件数		—

部局名:蛋白質研究所

区分	指標	評価	検証コメント
教育	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(学部)		—
	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(大学院)		—
研究	常勤教員の論文数	A	<p>目標の達成状況が良好である</p> <p>目標をわずかに下回っているが、教授会等で、定期的に論文発表数等を提示するなど、積極的な取組を継続して行っており、評価できる。</p>
	競争的資金(科研費等)の獲得件数・金額	A	<p>目標の達成状況が良好である</p> <p>獲得件数、金額ともに目標値を下回っているものの、若手教員の採択率向上に向けた取組を積極的に行っており、評価できる。</p>
産学共創	共同研究・受託研究の受入金額	B	<p>目標の達成状況が不十分である</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産学連携の取組は評価できるが、成果指標の実績値に基づき、判断した。</li> <li>共同研究・受託研究の獲得に向けて、学内の支援体制を積極的に活用し、今後の向上に期待したい。</li> </ul>
グローバル化	外国人留学生数		—
	日本人海外派遣件数		—

部局名:社会経済研究所

区分	指標	評価	検証コメント
教育	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(学部)		—
	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(大学院)		—
研究	常勤教員の論文数	S	目標の達成状況が優れている 数値目標を 40%以上と大きく上回っており、また前年度からも 50%以上と大きく増加しており、高く評価できる。
	競争的資金(科研費等)の獲得件数・金額	A	目標の達成状況が良好である
産学共創	共同研究・受託研究の受入金額	A	目標の達成状況が良好である
グローバル化	外国人留学生数		—
	日本人海外派遣件数		—



部局名:接合科学研究所

区分	指標	評価	検証コメント
教育	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(学部)		—
	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(大学院)		—
研究	常勤教員の論文数	B	目標の達成状況が不十分である 目標を下回っているが、論文数を教員業績評価に取り入れるなどの取組を行っており、今後の向上に期待する。
	競争的資金(科研費等)の獲得件数・金額	B	目標の達成状況が不十分である 例年より高い目標設定がなされており、目標値に到達していないが、例年通りの成果をあげている。若手研究者への研究助成の効果を調査し、さらなる効果をあげるための施策につなげていくことを期待する。
産学共創	共同研究・受託研究の受入金額	A	目標の達成状況が良好である 目標値を達成する等、順調な進捗が見られ、評価できる。
グローバル化	外国人留学生数		—
	日本人海外派遣件数		—

部局名:レーザー科学研究所

区分	指標	評価	検証コメント
教育	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(学部)		—
	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(大学院)		—
研究	常勤教員の論文数	B	目標の達成状況が不十分である 目標値を下回っているが、新しい融合研究の推進や、論文発表経費の支援、FWCI、10%論文数の向上を目指した取組の成果が得られることを期待する。
	競争的資金(科研費等)の獲得件数・金額	B	目標の達成状況が不十分である 獲得件数、金額とも目標値を下回っているが、各構成員への支援、大型予算獲得に向けた戦略的検討を進め、今後の向上に期待する。
産学共創	共同研究・受託研究の受入金額	A	目標の達成状況が良好である 目標値を達成する等、順調な進捗が見られ、評価できる。
グローバル化	外国人留学生数		—
	日本人海外派遣件数		—

部局名:核物理研究センター

区分	指標	評価	検証コメント
教育	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(学部)		—
	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(大学院)		—
研究	常勤教員の論文数	A	目標の達成状況が良好である
	競争的資金(科研費等)の獲得件数・金額	A	目標の達成状況が良好である 競争的資金の獲得件数は昨年度よりも増加し、目標を達成したが、獲得金額は昨年度よりも減少し、目標値に及ばなかった。所属教員へのサポート体制の強化を進め、来年度の向上に期待したい。
産学共創	共同研究・受託研究の受入金額	A	目標の達成状況が良好である
グローバル化	外国人留学生数		—
	日本人海外派遣件数		—

部局名:サイバーメディアセンター

区分	指標	評価	検証コメント
教育	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(学部)		—
	全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(大学院)		—
研究	常勤教員の論文数	B	目標の達成状況が不十分である 目標値を下回っているが、部局独自の研究支援経費を配分するなどの取組を行っており、今後の向上に期待する。
	競争的資金(科研費等)の獲得件数・金額	S	目標の達成状況が優れている 獲得件数は目標値をわずかに下回っているものの、獲得金額が前年度比を大きく上回っており、高く評価できる。
産学共創	共同研究・受託研究の受入金額	A	目標の達成状況が良好である 新たな協働研究所の稼働や産学連携活動の強化により、前年度実績及び目標値を大きく上回る実績を上げており、評価できる。
グローバル化	外国人留学生数		—
	日本人海外派遣件数		—